

公益社団法人 日本地下水学会
2026 年度 第 1 回 理事会議事録

1. 開催日時：2026年4月25日(土)13:30-16:50

2. 開催場所：京橋プラザ区民館 2 号室、Web 会議

3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：13人

○：出席、×：欠席

理事	遠藤 崇浩	○*	理事	久保田 富次郎	○*
理事	阪田 義隆	○*	理事	杉田 文	○
理事	瀬尾 昭治	○	理事	高木 一成	○
理事	竹内 真司	×	理事	辻村 真貴	○*
理事	中川 啓	○*	理事	西田 憲司	○
理事	増岡 健太郎	○	理事	宮越 昭暢	×
理事	山中 勝	○	理事	吉岡 真弓	○
理事	吉田 広人	○			

*Web にて出席

5. 出席監事数：2人

○：出席、×：欠席

監事	高坂 信章	○*	監事	五藤 幸晴	○*
----	-------	----	----	-------	----

*Web にて出席

6. 議長の氏名：会長 杉田 文

代表理事 杉田 文は、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13 時 30 分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況

- ・ 2026年3月25日(水) 第17回 地理学連携機構、地理関連学会連合、人文・経済地理関連学会協議会合同総会 出席
- ・ 2026年3月31日(火) 2025年度 第3回 地球・資源分野JABEE委員会(WEB会議) 出席

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 増岡 健太郎

10. 理事会資料

- ・ 資料 1 : 2026 年度第 1 回理事会議事次第
- ・ 資料 2 : 2025 年度第 8 回理事会議事録
- ・ 資料 a (5 種) : 審議資料
- ・ 資料 b (6 種) : 協議資料
- ・ 資料 c (17 種) : 報告資料

【監査報告】

- ・2026年4月16日（水）に開催した2025年度監査の結果が報告された。

【審議事項】

第1号議案：2025年度事業報告書（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-1)

- ・「2025年度事業報告書」について、原案の通り承認された。

第2号議案：2025年度決算報告書（会計委員会：資料 a 審議_11(会)）

- ・「2025年度決算報告書」について、原案の通り承認された。

第3号議案：2026年度表彰推薦（表彰委員会：資料 a 審議_12(表)-1)

- ・2026年度学会表彰における各賞の受賞候補者の原案が示され、承認された。

第4号議案：入会の承認（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-2)

- ・正会員4名、準会員4名、特別会員1名についての入会が承認された。

第5号議案：新入会員アンケート実施（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-3)

- ・原案に対する理事会修正案で、2024年度以降の入会員を対象としたアンケートを実施することが承認された。
- ・システムによる自動配信が行える入会員については、システム上での配信で対応する。システムによる自動配信が行えない入会員（主に2024年度、2025年度入会員）については、個別にアンケートの案内メールを送付して対応する。（事務局）
- ・関係事項として、全ての学会員を対象とした学会満足度調査アンケートの実施を今後検討していく。（総務委員会）

【協議事項】

①合併号発行の可能性について（編集委員会：資料 b 協議_06(編)-1)

- ・学会誌でページ数が極端に少ない号への対応として、合併号（例えば、第3・4号合併号など）として発行する可能性があることが付議され、認められた。
- ・合併号を発刊する場合、会告等に関して関係委員会と事前に調整し、他媒体を活用するなどによって対処することとした。
- ・現状として、直近2～3年では、学会誌への一般投稿が特に少ない状況（一号あたり0～1本）が続いており、ページ数の維持（会員サービスの維持）のために毎号で特集を組むなどの対応をせざるえない状況であることが報告された。

②会員の倫理および懲罰に関する規程について（総務委員会：資料 b 協議_13(総)-1)

- ・他団体の懲罰規程の制定状況について調べた結果、会員数が1万人を超えるような大きい学会では懲罰規程を設けている場合もあるが、本学会のような小規模な学会で懲罰規程を定めている学会は調査範囲の中では見当たらなかったことが報告された。
- ・前記より、懲罰に関する規程の作成はしないが、事案が生じた場合に円滑な対応と判断を行えるように、施行細則への対応方針の記載と関係内規の作成を行う。（事務局／総務委員会）

③SNS運用について（総務委員会：資料 b 協議_13(総)-2)

- ・SNS運用に関する他学会／団体のルール制定に関して、多くの学会／団体で、正式アカウント以外からの発信に関する免責事項が示されていることが報告された。
- ・現状、本学会において上記のような文言は外部に示されていない（広報・IT委員会内規のみ）。総務委員会と広報・IT委員会とで相談しながら、どのような仕組みで運用するのが良いかを検討し、改めて理事会に提案することとした。

④2026年度定時代議員総会議事次第（総務委員会：資料 b 協議_13(総)-3)

- ・定時代議員総会の議事次第（案）が示され、了承された。
- ・代議員総会後の意見交換会の開催が提案され、内容についての議論を行った。その結果、現在学会が抱えている各種問題を簡単に取りまとめた資料を準備し、意見交換会にて話題提供すること

とした。(山中理事、西田理事、中川理事)

- ・上記資料については、代議員総会の開催1週間前を目途に、代議員に送付することとした。

⑤2026年度理事会日程(総務委員会:資料b協議_13(総)-4)

- ・今後の理事会日程として、以下の日程とすることが決定した。
2026年6月20日(土)、8月29日(土)、10月17日(土)、12月20日(日)、
2027年2月6日(土)、4月24日(土)

【報告事項】

無任所:(資料なし)

- ・IAH2029組織委員会の状況についての報告が行われた。4月2日の委員会においてPCOが決定し、IAH本部への資料提出にむけた準備を進めているとの報告がされた。
- ・参加者費用のみでは予算が不足する可能性が出てきたため、各種予定している行事内容の再検討や企業協賛金の募集などについて、PCOと適宜相談しながら進めていることが報告された。

企画委員会:(資料なし)

- ・報告事項なし。

行事委員会:(資料c報告_04(行))

- ・2025年度秋季講演会における若手優秀講演賞の受賞者が報告された。
- ・2026年度春季講演会の開催内容、今後の講演会および研究集会の準備状況が報告された。
- ・物価上昇や学会の会計状況を考えると、今後、講演会参加費の値上げについて検討していく必要があるとの意見が出された。

渉外委員会:(資料なし)

- ・台湾地下水資源・水文地質学会とのMOU署名式がJpGU大会期間中の5月26日(火)に開催予定で、杉田会長、竹内副会長が出席予定であることが報告された。
- ・セミナー「地下水のきほん」について、夏頃から開催準備を開始するとの報告がされた。

編集委員会:(資料c報告_06(編)-1~4)

- ・第68巻1号(2026年2月号)の出版報告、第68巻2号(2026年5月号)の出版スケジュールが報告された。
- ・地下水学会誌の原稿処理状況が報告された。
- ・査読倫理に関する編集委員会としての対応が報告された。
- ・編集委員の増員(新任)が報告された。
- ・論文投稿料概算システムの新設を進める旨が報告された。

調査・研究委員会:(資料c報告_07(調))

- ・地域地下水情報データベースの更新について、文献検索対象データを拡充しおおむね完了したことが報告された。
- ・現場透水試験法の海外技術の普及活動に関する研究グループについて、現在最終校正中で本年度出版予定であると報告がされた。
- ・国土数値情報と高度利活用調査・研究グループについて、①国土数値情報等の水文・水理オープンデータの現状、②国土数値情報の活用、③国土数値情報の高度利用に分け、それぞれで活動を継続中であることが報告された。
- ・令和6年能登半島地震に関する調査・研究グループについて、3月30日-31日に、七尾・珠洲での現地視察会を有志で行い、活動を終了したことが報告された。
- ・PFASによる地下水汚染への対応に関する調査・研究グループについて、WG1(挙動・解析WG)とWG2(汚染実態把握・調査・対策(分析を含む))に分けて活動中であることが報告された。

市民コミュニケーション委員会:(資料c報告_08(市))

- ・今年度の湧水巡りについて、入間市を第一候補として検討しており、4月26日(日)に市民コミュニケーション委員会有志にて下見予定であるとの報告がされた。

広報・IT委員会:(資料c報告_09(広))

(委員長欠席のため、資料報告のみ)

- ・ウェブサイト・SNSアカウントの管理運用と情報発信、グループウェアの管理運用報告がされた。

YEPS委員会：(資料c報告_10(YE)-1~3)

- ・「2026年度若手地下水研究助成」審査のスケジュール等について報告がされた。7月までに採択結果を伝える予定。
- ・日本地下水学会 2026年若手交流会開催に関する報告がされた。過去の若手地下水研究助成の採択者に講演をいただく予定であると報告がされた。
- ・春季講演会の保育支援の実施について報告がされた。

会計委員会：(資料なし)

- ・報告事項なし。

表彰委員会：(資料c報告_12(表))

- ・計画通りに表彰事業が進められていることが報告された。

総務委員会：(資料c報告_13(総)-1~4)

- ・会告『ご寄附のご報告』における寄附者掲載順を総務委員会で議論し、五十音順で掲載したとの報告がされた。
- ・会費の支払い状況について報告がされた。新システム(SMOOSY)導入による会費未納者の増加などの影響は今のところ見られず、むしろ未納者へのリマインドメールによる会費納入効果が大いと考えられるとの報告がされた。
- ・総合資源エネルギー調査会臨時委員に竹内副会長を推薦(継続)したとの報告がされた。
- ・後援依頼1件(第29回日本水大賞・2027日本ストックホルム青少年水大賞)、協賛依頼3件(地盤技術フォーラム2026、Kansai Geo-Symposium2026、第21回再生可能エネルギー世界展示会及びRE2026 国際会議)の報告がされた。
- ・総務委員1名の退任が報告された。

監事：(資料なし)

- ・学会誌については、可能な限り年4回の発刊を維持していただき、代議員総会後の意見交換会で議論すべきとの意見が出された。
- ・各理事は、理事会資料の提出期日を守るようにとの指摘がされた。
- ・今後、企画やシンポジウムなどで如何に収入源を確保していくか検討することが課題の一つであるとの意見が出された。

以上をもって議事を終了したので、議長は16時50分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2026年4月28日

公益社団法人日本地下水学会 理事会